

アール・ブリュット・ジャポネ展

感動と驚嘆を呼び起こす、日本のアール・ブリュット

2013年 10月1日(火) — 11月24日(日)

休館日 毎週月曜日、10月15日(火)、11月5日(火) ※10月14日(月)、11月4日(月)は祝日のため開館

主催：福岡市美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会

後援：福岡市教育委員会、福岡市社会福祉協議会、福岡市社会福祉事業団、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、テレビ西日本、

FBS福岡放送、TVQ九州放送、ジェイコム九州、(公財)福岡市文化芸術振興財団

特別協力：THE NIPPON FOUNDATION

協賛：ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン、味の明太子ふくや

企画協力：ポードレス・アートミュージアム NO-MA (滋賀県社会福祉事業団)

舩万里絵〈人に見えぬぞよき〉2007年
ポードレス・アートミュージアム NO-MA 蔵



福岡市美術館
FUKUOKA ART MUSEUM

今、世界が注目する日本のアール・ブリュット。 そのエッセンスをここに凝集!

本展は、2010年3月から翌年1月まで、パリ市立アル・サン・ピエール美術館で開催され、12万人もの来場者を魅了した「ART BRUT JAPONAIS」展の日本凱旋展覧会です。「アール・ブリュット」とは、「生の芸術」を意味する言葉です。

20世紀フランスの画家ジャン・デュビュッフェは、アカデミックな美術教育や教養とは無縁の人々が、発表や評価を当てにしないままに生み出す作品群を、そのように呼びました。

現在ではその意味の外縁は大きく広がり、文化を超えて見る者を深く感動させる造形作品を包括し、理解するために役立つ重要なキーワードとなりました。

強烈な色づかい、大胆にして繊細な描線、文字や身の周りのものへの強いこだわり…

卓抜した技術や流行への追従はそこにはなく、独創的な着想や制作への歓喜があふれています。

そのような作品を前にしたとき、私たちがいかに既成の「美術」概念にとらわれているかに改めて気づかされ、同時に彼らの創作エネルギーに深い感動と驚嘆を覚えずにはいられません。

総勢作家63人・600点を超える作品群が発する力強いエネルギーと豊かな表現は、わたしたちに創造することの原点や楽しさを感じさせてくれることでしょう。

会 期：2013年10月1日(火)～11月24日(日)

休 館 日：毎週月曜日、10月15日(火)、11月5日(火)

※10月14日(月)、11月4日(月)は祝日のため開館

開館時間：9時30分～17時30分(入館は17時まで)

観 覧 料：一般1,000(800)円、高大生700(500)円

※()内は前売り、20名以上の団体および満65歳以上の方の割引料金。満65歳以上の方はチケット購入時に年齢が分かる物(健康保険証、運転免許証等)をご提示ください。

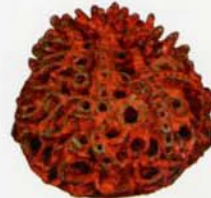
次の該当者は観覧無料：

小中学生/身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の提示者とその介護者1名/特定疾患医療受給者証、先天性血液凝固因子障害等医療受給者証、小児慢性特定疾患医療受診券の提示者

※前売券は、チケットぴあ(Pコード765-848)、イープラス、ローソンチケット(Lコード88666)、セブンチケット(セブンコード025-850)のほか主要プレイガイドにて発売予定。



八重樫道代(チャグチャグ馬コ) 2002年 日本財団蔵



伊藤真彦(鬼の面) 2004年 日本財団蔵



田島征三(自燃する男) 2003年 作家蔵



澤田真一(無題) 2006～2007年 日本財団蔵



富塚純光(青い山脈物語 8: おっかけられたの巻) 2001年 日本財団蔵



石野敬祐(女の子) 2009年 日本財団蔵



(ぼくの、失われたなじみ食堂をもとめて…IV) 佐久田祐一 2009年 作家蔵

記念講演会「日本のアール・ブリュットの魅力」

日時：10月13日(日)14時～ 場所：福岡市美術館 講堂 講師：小林瑞恵氏
今、日本のアール・ブリュットが欧州を中心に紹介され、高い評価を受けています。それはどうしてなのでしょう？ 世界と日本のアール・ブリュットの歴史的背景や現在の動向を交え、人間が創造することの豊かさや可能性を探求します。

小林 瑞恵 こばやしみずえ：

NPO法人はれたりくもったりおよび社会福祉法人愛成会でアートディレクターを務める。現在開催中のヨーロッパ巡回展 Art Brut from Japan (Outsider Art from Japan) では日本側キュレーターを担当。アール・ブリュットに関する展覧会を多数企画し、本展企画にも携わる。

定員：240名 ※聴講無料、申し込み不要です。直接会場にお越しください。

主催：社会福祉法人 明日へ向かって



[交通案内]

地下鉄：

○(空港線)大濠公園駅下車、徒歩10分。 ○(七隈線)六本松駅下車、徒歩10分。

西鉄/バス：

○[系統番号13・140]で「福岡市美術館東口」下車、徒歩3分。
○[系統番号6・7・12・113・114・200～206・208]で「赤坂三丁目」下車、徒歩5分。
○[系統番号6-1]で「NHK放送センター入口」下車、徒歩3分。

車：

福岡都市高速「西公園ランプ」から降車。車で5分。

※無料駐車場は20台分です。周辺に有料駐車場もありますが、なるべく公共の交通機関をご利用ください。